

秋まつりへ おも 想いを込めて

煌びやかな山車の運行や息の揃った囃子の演奏のためには、事前の準備や練習が欠かせません。今号では、4年ぶりの秋まつり参加となる「南小稲祭典委員会」と「若葉地区四町内会祭典委員会」へ山車の制作や練習、当日の様子取材しました。



作業しながら
山車制作の
感覚を思い出します



真剣な表情で
太鼓に向き合います



音をよく聴いて
タイミングを合わせます



衣装は手縫い

人形の手は
木彫りで作成！



装飾作りは
慎重に…



終息への願いを
見返り(山車の後ろ側)へ



南小稲祭典委員会



若葉地区四町内会祭典委員会

子どもが集まるか心配で、子ども会に協力してもらいながら太鼓の「体験会」を7月末に初開催しました。今回の秋まつりには、体験会で「太鼓楽しいな」と思ってくれた初心者や、経験者の子どもたちが参加しました。楽しんで続けてもらえればうれしいです。

久しぶりに出した山車は傷んで大掛かりな手直しが必要でした。また、テーマの三国志に合わせて人形の顔や衣装を中国風に作り変えるため、3月頃から制作に取り掛かりました。当日は山車の作り手も引き手もお囃子も、みんなで頑張りました。

山車と囃子の 競演

秋まつり初日に参加した12団体の山車や太鼓車の創造性や完成度、囃子や運行でのパフォーマンスが総合的に審査され、4団体へ賞が贈られました。



南町内会祭典委員会の皆さん

市長賞 南町内会祭典委員会

山車のテーマ

あてるい さかのうたむらまろ
阿豆流為 対 坂上田村麻呂

会頭賞 あけぼの祭典委員会
議長賞 西十一番町町内会
十和田奥入瀬観光機構
理事長賞 西茜会



市長賞 受賞のコメント

受賞できて率直にうれしいです。山車制作は若手の「これがやりたい」というアイデアをみんなでサポートしながら行いました。地域の中で若い力があることが良いなと思っています。